

# 陳情第14号

2014年11月17日

霧島市議会議長  
常盤 信一 様



## 「霧島市民の医療を充実するための」陳情書

霧島市社会保障推進協議会  
会長 原 口 兼 明  
住所 霧島市国分中央3丁目22-18  
TEL 45-4806

### 【陳情趣旨】

値上げが続く保険料・利用料、切り下げられるサービスなど、もはやガマンも限界にきています。憲法25条をいかし、国・自治体の責任で、すべての人に安心の医療・介護を保障することは緊急の課題です。

霧島市の国民健康保険税は、2007年に県内で最も負担の高いものでしたが、私たちは数度の署名、陳情を積み重ね、2010年度からようやくその引き下げを実現することができました。(課税所得255万円4人家族で2万6500円引き下げ) 現在霧島市の国保税は、県内で4番目に高い40万245円(課税所得200万円、4人家族)です。

2010年度から3年間の期限付きであった引き下げは、2013年4月からは、単年度ごとに継続して施行されています。国保に加入している世帯の約7割が年間100万円未満の課税所得階層であり、私たちは低所得者の負担軽減のために引き続き現行の措置の継続を求めます。

さらに、子ども医療費の病院窓口での無料化(現物給付方式)は、九州本土では鹿児島県以外は全て実施されていますが、鹿児島県は償還払い(病院の窓口で払った後、2~3ヶ月後に助成分が戻ってくる)となっています。霧島市は、2013年10月から中学校卒業まで月額2000円を超える分は助成することになりましたが、私たちは全ての子ども(中学校卒業まで)の病院窓口無料化を求めます。

### 【陳情事項】

- 1 霧島市の国民健康保険税引き下げを継続すること。
- 2 全ての子ども医療費の病院窓口での無料化(現物給付方式)をはかること。

以上

以上のことにつきまして趣意にご賛同くださいますよう  
お願い致します。